

H29 年度 市民工学倫理 ガイダンス資料

2017 年 10 月 5 日 内山雄介

概要

技術者倫理に関する具体的あるいは観念的な事例に基づいたディベート，分析，発表を通じて，土木技術者に求められる倫理観を涵養する．道徳，法令遵守などの尺度との差異を意識しながら，必ずしも正解のない倫理問題への対処法を深く思考し判断するために必要な，履修者各自の倫理観を醸成する．

担当教員と教室

全体統括：内山（取りまとめ），小池

- 担当 1（C2-202）：中山，小林
- 担当 2（C2-302）：長尾，鋤田，橋本，三木
- 担当 3（C3-201）：織田澤，瀬谷
- 担当 4（C3-203）：加藤，竹山

授業の目標（シラバスより）

「市民工学倫理」を共通テーマとして設定し，少人数による主体的な討議，調査，分析，発表を通じて，現状の問題点，専門責任，市民工学技術者のあるべき姿について考究し，「市民工学技術者としての倫理性を涵養するとともに判断力を養成する」ことを目的とする．

学生の学習目標（シラバスより）

①技術者としての倫理性の涵養，②問題発見能力の修得，③ディベート能力の修得，④分析・批判・評価能力の修得，⑤プレゼンテーション能力の修得

授業の進め方

- 履修生を 4 班に分けて各教室でグループワーク（小テーマ 2＋大テーマ 1）．
- グループワークの進め方は各担当教員の指示に従う．
- グループ分けは履修者登録完了後，学科掲示板に掲示するので各自確認する．
- テーマが変わる毎にローテーションし，グループと教員の組み合わせを変える．

教材

- 土木学会編 土木技術者倫理問題－考え方と事例解説 II－（税別 1,500 円）
- 土木学会編 土木技術者の倫理－事例分析を中心として－（税別 1,200 円）
- 土木学会倫理規定（別添）：倫理的意志決定のブレを最小化するために PDCA サイクルの③Check 段階でのチェックシートとして用いる．
- 講義資料は必要に応じて随時下記 HP にアップロードする予定．資料の解凍パスワードは，特記なき限り「」（注：ガイダンスにて示します）．

<http://coast.dce.kobe-u.ac.jp?Classes>

- 科学技術倫理オンラインセンター

<http://www.info.human.nagoya-u.ac.jp/lab/phil/OCSTE/>

講義日程

回	日時	場所	内容	担当教員
01回	10/05, 3限	LR202	ガイダンス, 全体講義	内山, 小池
02回	10/12, 3限	LR202	全体講義	小池
03回	10/19, 3限	各教室	小テーマ1 (1回目)	担当1, 2, 3, 4
04回	10/26, 3限	各教室	小テーマ1 (2回目)	担当1, 2, 3, 4
05回	11/02, 3限	各教室	小テーマ1 (3回目)	担当1, 2, 3, 4
06回	11/09, 3限	各教室	小テーマ2 (1回目)	担当1, 2, 3, 4
07回	11/16, 3限	各教室	小テーマ2 (2回目)	担当1, 2, 3, 4
08回	11/30, 3限	各教室	小テーマ2 (3回目)	担当1, 2, 3, 4
09回	12/07, 3限	各教室	大テーマ (1回目)	担当1, 2, 3, 4
10回	12/14, 3限	各教室	大テーマ (2回目)	担当1, 2, 3, 4
11回	12/21, 3限	各教室	大テーマ (3回目)	担当1, 2, 3, 4
12回	01/11, 3限	各教室	大テーマ (4回目)	担当1, 2, 3, 4
13回	01/18, 3限	各教室	大テーマ (5回目)	担当1, 2, 3, 4
14回	01/25, 3限	LR202	全体発表会 1	全担当教員
15回	01/25, 4限	LR202	全体発表会 2	全担当教員

注：全体発表会は1/25（木）3，4限連続で実施する。

成績判定

市民工学専門必修科目であるので、出席はとても重要視される。その上で、グループワークでの取り組み状況を、小テーマ1（20%）・小テーマ2（20%）・大テーマ（40%）で個人評価し、さらに最終プレゼンテーション（20%）をグループごとに評価する。合計60%以上を合格とする。なお本科目は今年度から合否判定科目となっている（秀、優などはつかない）。